

# 鹿児島県感染症情報

2012年 第21週報 (5月21日~5月27日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>》

今週の感染性胃腸炎の報告数は、平成17年以降の同時期では、最も高値でした。5月に入ってもロタウイルスによる感染が多いようです。予防対策に努め、集団感染による流行を防止しましょう。

★ 感染性胃腸炎の発生動向とその予防対策

今週の感染性胃腸炎の報告数は、前週527人より32人少ない495人(定点当たり報告数9.00)で、前週よりも報告数が増加した保健所は、鹿屋(11.60)、始良(11.57)、伊集院(9.75)、志布志(8.00)、徳之島(3.00)、名瀬(2.33)でした。当センターが実施している病原体サーベイランスでは、平成24年5月に病原体定点医療機関より提供された11検体から、ロタウイルス(7例)、ノロウイルス、サポウイルス(それぞれ1例)が検出されています。

ウイルスに起因する感染性胃腸炎の感染経路としては、人を介した感染(感染した人の便や吐物に触れた手指を介した経口感染、咳やくしゃみとともに舞い上がったウイルスを取り込むことによる飛沫感染)と食品媒介感染(例えばノロウイルスに汚染された食品を介して起こる食中毒)があります。感染性胃腸炎の予防対策としては、手洗いが最も大切です。帰宅時、食事前、トイレ後等には、石けんを使い、流水で十分に手を洗ってください。

咽頭結膜熱の報告数は、増減を繰り返しながらも増加傾向にあります。6月頃から徐々に増加し始める夏季の疾患ですので、今後の動向には注意が必要です(3頁の「注目される感染症の発生状況」を参照)。

★ 咽頭結膜熱の発生動向とその予防対策

今週の咽頭結膜熱の報告数は、前週48人より10人多い58人(定点当たり報告数1.05)で、前週よりも報告数が増加した保健所は、西之表(11.00)、出水(2.67)、始良(2.00)でした。本疾患は、主にアデノウイルス3型に感染することにより、発熱、咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)、結膜炎(結膜充血、眼痛、流涙、眼脂)を主症状とする急性のウイルス性感染症です。予防対策としては、うがい、手指の消毒の励行により、流行を抑えることが重要です。また、プールを介した流行に対しては、水泳前後のシャワー等の励行を心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、直近の3週をみると、ほぼ横ばいで推移しています。予防対策としては、手洗い、うがいを励行し、家庭や学校等でのタオルの共用は避けてください。

★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生動向とその予防対策

今週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、前週139人より6人多い145人(定点当たり報告数2.64)で、前週よりも報告数の増加した保健所は、川薩(9.25)、鹿屋(4.20)、大口(3.00)、出水(1.00)、始良(1.00)、加世田(0.33)でした。予防対策としては、起因菌を手によって自分の口や鼻に運ぶことを避けるため、手をよく洗うことが大切です。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核6例(肺結核5例、結核性胸膜炎1例) 追加17週、20週：結核(それぞれ1例)
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例
五類感染症	風しん1例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関数はインフルエンザ定点93、小児科定点55です。
- ・第21週の定点把握対象疾患の総報告数は973人で、前週より65人少なかった(詳細については後述)。
- ・流行発生警報の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(開始8.0、終息4.0)】：川薩(9.25)、【咽頭結膜熱(開始3.0、終息1.0)】：西之表(11.00)、出水(2.67)

- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所

【流行性耳下腺炎(基準値3.0)】：志布志(3.00)

※ (数値) は定点当たり報告数  
 ※ アンダーラインは今週基準値以上の保健所

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

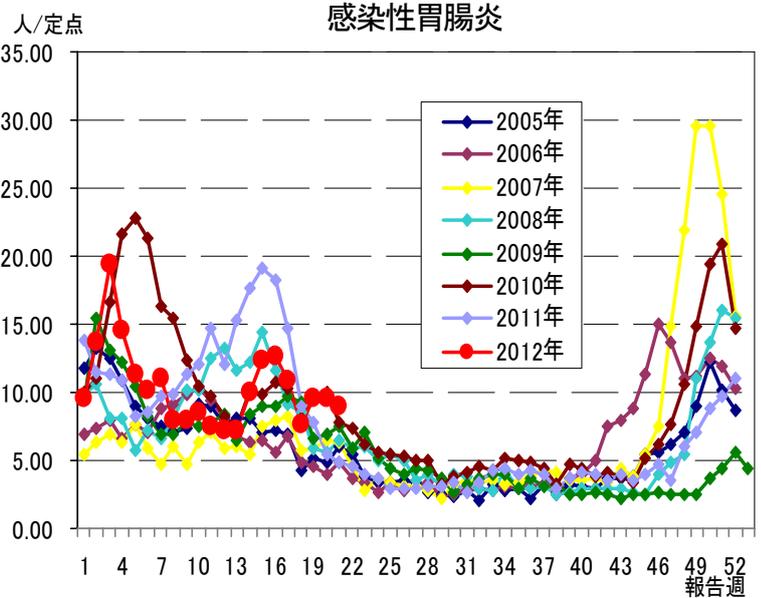
(1) 感染性胃腸炎

第21週の感染性胃腸炎の報告数は495人で、前週より32人少なく、定点当たりの報告数は9.00であった。

年齢別では、1歳(65人)、3歳、4歳(それぞれ56人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所(13.62)、加世田保健所(12.00)、鹿屋保健所(11.60)の順に多い。

2週連続で流行発生警報域の保健所はなかった。



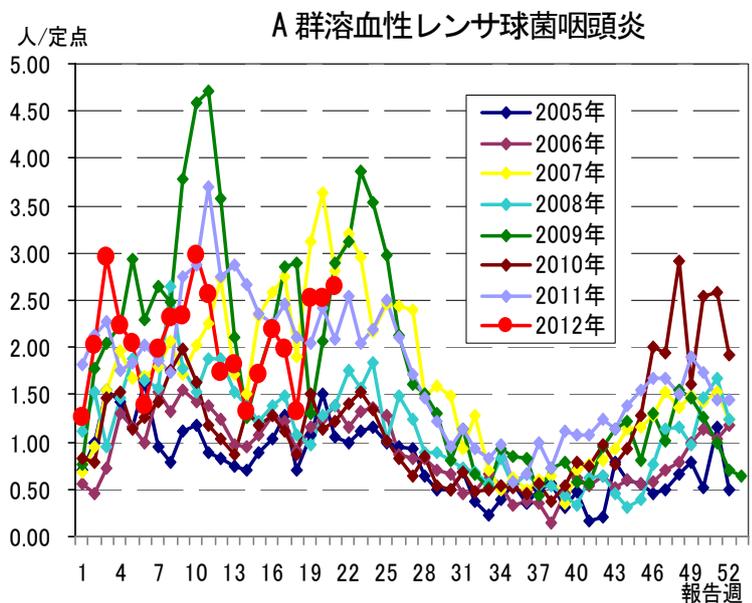
(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第21週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は145人で、前週より6人多く、定点当たりの報告数は2.64であった。

年齢別では、5歳(20人)、4歳(18人)、6歳(16人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所(9.25)、鹿児島市保健所(4.62)、鹿屋保健所(4.20)の順に多い。

川薩保健所が今週から流行発生警報域である。



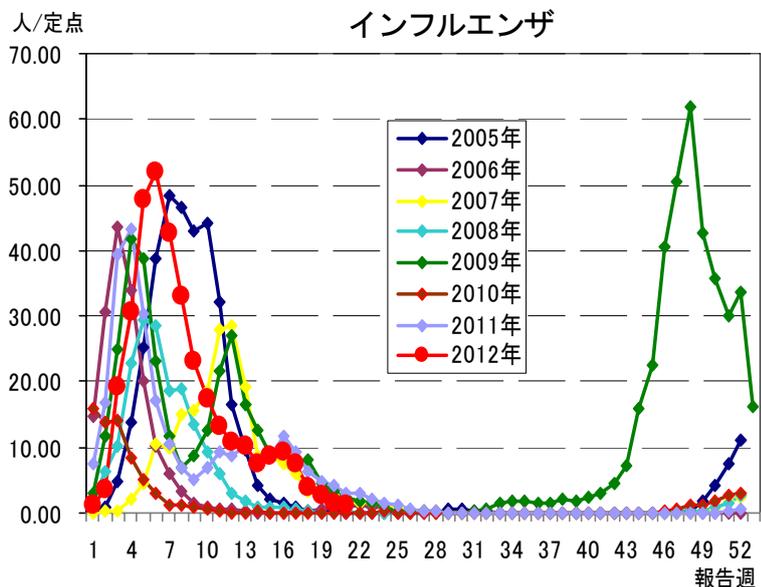
(3) インフルエンザ

第21週のインフルエンザの報告数は101人で、前週より25人少なく、定点当たりの報告数は1.09であった。

年齢別では、8歳(19人)、10~14歳(15人)、15~19歳、30~39歳、40~49歳(それぞれ8人)の順に多かった。

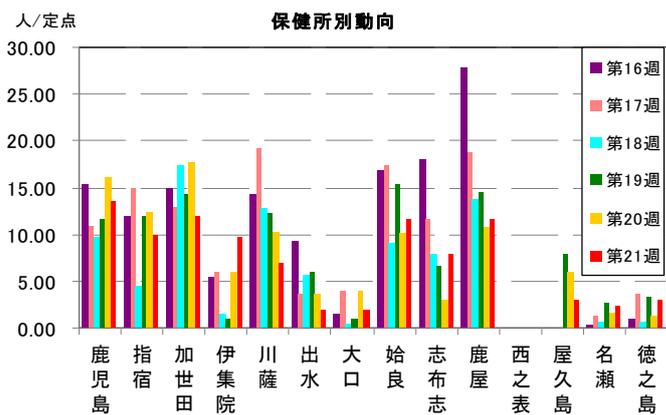
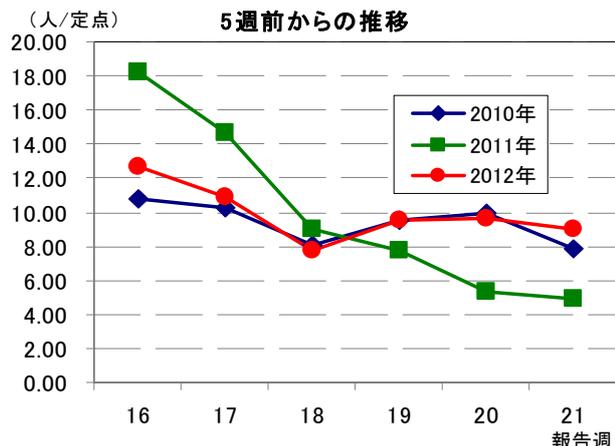
保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所(2.60)、鹿屋保健所(1.75)、鹿児島市保健所(1.57)の順に多い。

4週連続で流行発生警報域、流行発生注意報域の保健所はなかった。

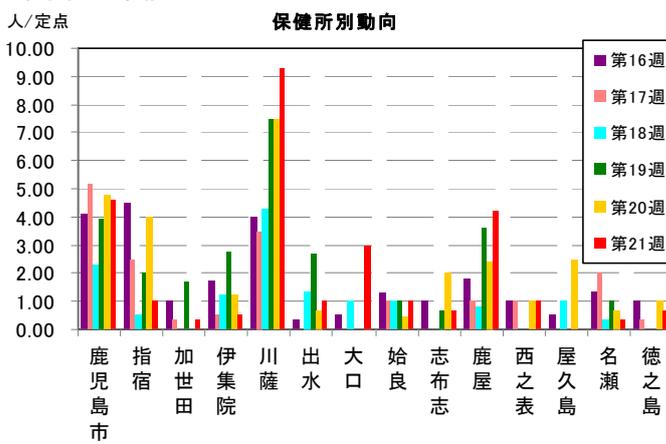
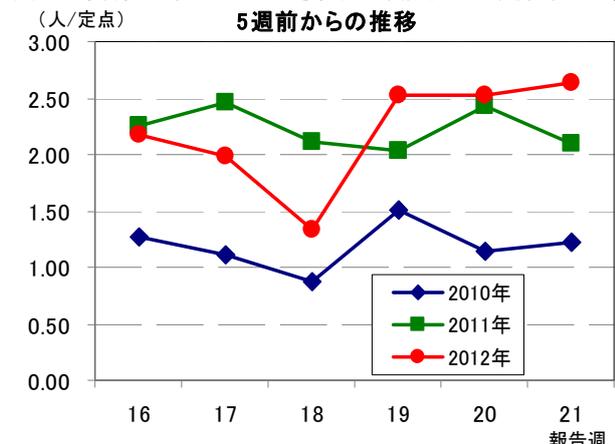


☆上位3疾患の5週間からの定点あたり報告数及び保健所別動向

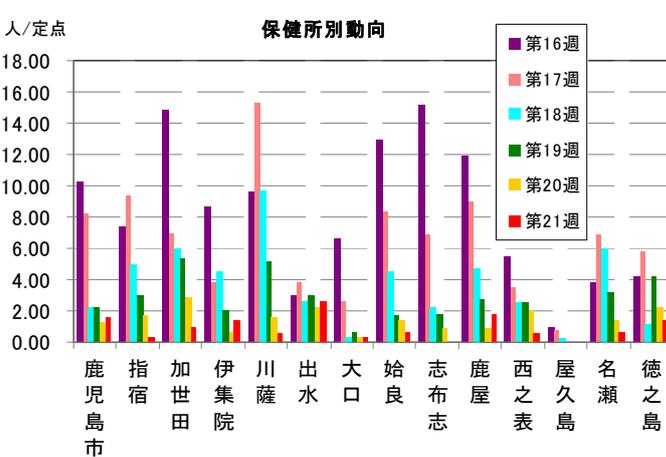
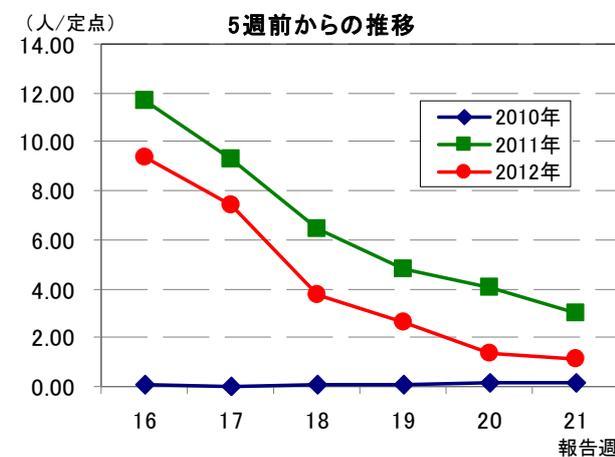
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (流行発生警報は開始基準値 8.0 以上)

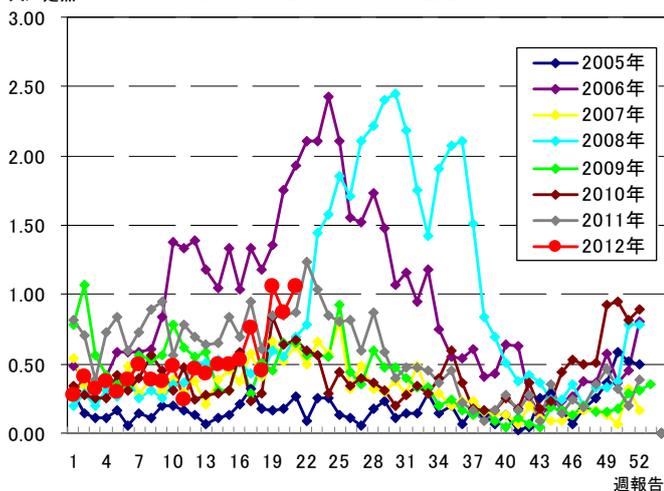


(3) インフルエンザ (流行発生警報は開始基準値 30.0 以上)

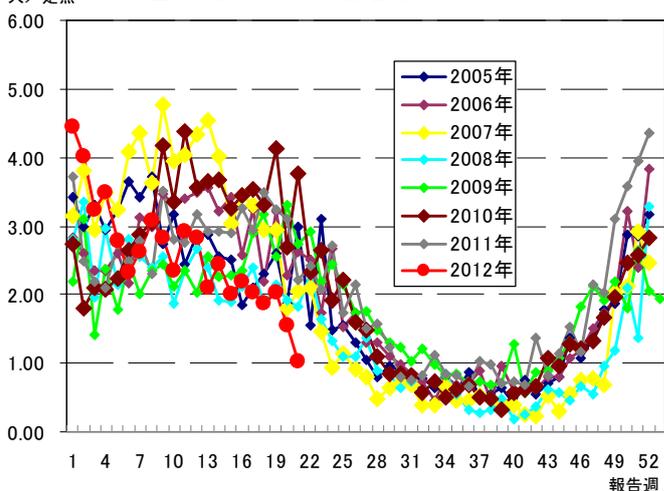


☆注目される感染症の発生状況

★咽頭結膜熱の発生状況 (鹿児島県)



★水痘の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2012年	(報告週)	第21週
-------	-------	------

定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2012年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	101	1.09	31,972
小児科定点	RSウイルス感染症	14	0.25	691
	○ 咽頭結膜熱	58	1.05	580
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	145	2.64	2,382
	感染性胃腸炎	495	9.00	11,838
	水痘	57	1.04	2,944
	○ 手足口病	3	0.05	261
	伝染性紅斑	1	0.02	52
	○ 突発性発しん	33	0.60	549
	百日咳	—	—	20
	○ ヘルパンギーナ	13	0.24	39
	流行性耳下腺炎	45	0.82	879
眼科定点	急性出血性結膜炎	—	—	1
	流行性角結膜炎	5	0.71	120
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	3
	マイコプラズマ肺炎	3	0.25	212
	クラミジア肺炎	—	—	—
報告数合計		973		52,543

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2012年16週)	4週前 (2012年17週)	3週前 (2012年18週)	2週前 (2012年19週)	1週前 (2012年20週)	今週 (2012年21週)
インフルエンザ	報告数	867	686	351	247	126	101
	定点当り	9.32	7.38	3.77	2.66	1.35	1.09
RSウイルス感染症	報告数	36	41	21	14	18	14
	定点当り	0.65	0.75	0.38	0.25	0.33	0.25
咽頭結膜熱	報告数	29	42	25	58	48	58
	定点当り	0.53	0.76	0.45	1.05	0.87	1.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	120	109	73	139	139	145
	定点当り	2.18	1.98	1.33	2.53	2.53	2.64
感染性胃腸炎	報告数	695	598	424	526	527	495
	定点当り	12.64	10.87	7.71	9.56	9.58	9.00
水痘	報告数	121	112	103	112	85	57
	定点当り	2.20	2.04	1.87	2.04	1.55	1.04
手足口病	報告数	4	7	7	5	1	3
	定点当り	0.07	0.13	0.13	0.09	0.02	0.05
伝染性紅斑	報告数	4	4	—	—	2	1
	定点当り	0.07	0.07	—	—	0.04	0.02
突発性発しん	報告数	27	30	20	38	21	33
	定点当り	0.49	0.55	0.36	0.69	0.38	0.60
百日咳	報告数	3	—	—	—	1	—
	定点当り	0.05	—	—	—	0.02	—
ヘルパンギーナ	報告数	—	1	1	6	5	13
	定点当り	—	0.02	0.02	0.11	0.09	0.24
流行性耳下腺炎	報告数	34	57	42	49	53	45
	定点当り	0.62	1.04	0.76	0.89	0.96	0.82
急性出血性結膜炎	報告数	—	—	—	—	—	—
	定点当り	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	報告数	14	4	14	7	6	5
	定点当り	2.00	0.57	2.00	1.00	0.86	0.71
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	—	—	—	—	—	—
	定点当り	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	報告数	2	—	—	—	—	—
	定点当り	0.17	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	報告数	6	8	6	7	6	3
	定点当り	0.50	0.67	0.50	0.58	0.50	0.25
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	—	—	—	—	—	—
	定点当り	—	—	—	—	—	—



年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2012年21週(05月21日～05月27日)

疾病名	合計	年齢階級												70～79	80歳～				
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14			15～19	20～29	30～39	40～49
インフルエンザ	101	-	2	2	2	3	4	3	7	7	19	5	15	8	6	8	8	2	-
報告数	101	-	2	2	2	3	4	3	7	7	19	5	15	8	6	8	8	2	-
定点当り	1.09	-	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.03	0.08	0.08	0.20	0.05	0.16	0.09	0.06	0.09	0.09	0.02	-
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～				
RSウイルス感染症	14	5	3	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	14	5	3	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.25	0.09	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	58	-	15	17	12	7	3	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
報告数	58	-	15	17	12	7	3	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
定点当り	1.05	-	0.27	0.31	0.22	0.13	0.05	0.04	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	145	2	3	12	12	15	18	20	16	15	5	6	12	1	8	-	-	-	-
報告数	145	2	3	12	12	15	18	20	16	15	5	6	12	1	8	-	-	-	-
定点当り	2.64	0.04	0.05	0.22	0.22	0.27	0.33	0.36	0.29	0.27	0.09	0.11	0.22	0.02	0.15	-	-	-	-
感染性胃腸炎	495	5	32	65	55	56	56	49	18	24	22	20	38	11	44	-	-	-	-
報告数	495	5	32	65	55	56	56	49	18	24	22	20	38	11	44	-	-	-	-
定点当り	9.00	0.09	0.58	1.18	1.00	1.02	1.02	0.89	0.33	0.44	0.40	0.36	0.69	0.20	0.80	-	-	-	-
水痘	57	1	6	13	13	6	7	3	3	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-
報告数	57	1	6	13	13	6	7	3	3	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	1.04	0.02	0.11	0.24	0.24	0.11	0.13	0.05	0.05	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
報告数	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.05	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	33	-	13	17	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	33	-	13	17	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.60	-	0.24	0.31	0.04	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	13	-	2	5	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	13	-	2	5	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.24	-	0.04	0.09	0.04	0.04	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	45	-	3	7	8	8	2	6	5	6	2	1	5	-	-	-	-	-	-
報告数	45	-	3	7	8	8	2	6	5	6	2	1	5	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.82	-	0.05	0.13	0.15	0.04	0.11	0.09	0.11	0.11	0.04	0.02	0.09	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
報告数	5	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
定点当り	0.71	-	-	0.14	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	0.14	-	0.14	-	-
(最終定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-